

2023年11月19日（日）、20日（月）

国労本部主催

第11回国労フクシマ交流 視察学習会に参加



国労西日本

国労西日本本部

NO. 349

発行責任者 植田 重信
編集責任者 大北 真也

国労西日本HP



国労西日本 検索

核と人類は共存できない！

第11回国労フクシマ交流・視察学習会が行なわれ西日本本部エリアからは本部役員含め5名が参加しました。今回は全行程をバス移動で行ないました。バスの車内では足跡のDVDや、広島・長崎での原爆体験者のDVDを見ながら移動しました。



久ノ浜・大久ふれあい館へ

最初にいわき市にある地域防災交流センター・久ノ浜・大久ふれあい館を見学しました。案内人の説明を受け、津波が大きな被害を及ぼしたことを学びました。

東日本大震災の教訓を踏まえ、海岸・河川の津波防災対策のほか、避難の徹底等を通じた多重防御による「減災」の考え方を津波防衛の基本として、津波浸水予想地域内において地域住



浪江町立請戸小学校へ

震災遺構浪江町立請戸小学校へ行きました。大津波のあと

常磐線の駅を視察

Jヴィレッジ駅と夜ノ森駅を見学しました。駅舎はきれいになっていますが周りに人もいない状況で寂しいものでした。前回の視察の時は夜ノ森駅の周りはバリケードがされていましたが、今回の視察ではバリケードは外され周りは建て壊しが進められていました。まだまだ更地が多く人が住むには時間がかかると感じました。

原発事故に見舞われ甚大な被害を受けましたが、全員が無事避難することができた「奇跡の学校」として知られています。



震災前の暮らした津波到達点、被害状況、卒業生や地元の方のメッセージなどが書かれた黒板がありました。

伝承館の見学及び交流学習会へ

東日本大震災・原子力災害伝承館は、双葉町にある施設で福島で起きた地震・津波・原発事故という未曾有の複合



災害の実態や復興に向けた歩みなどが展示されています。

交流学習会では、原子力資料情報センターの代表の伴さんから「海洋放棄より陸上保管を」という講演を受け、原発立地関係

報告を受けました。西日本本部藤野執行委員長、米子地方本部倉下執行委員長がそれぞれ文章報告を行ないました。

2011年3月11日の東日本大震災からもうすぐ13年を迎えます。今も尚生活は戻っていません。それでも政府は原発の運転期間を60年超できるようにしています。原発再稼働よりも自然エネルギー政策を訴えま

原発再稼働反対！

がん保険にできることを、もっと。

No.1 アフラック がん保険・医療保険 保有契約件数 令和3年版 インシュアランス生命保険統計号

NEW 「生きる」を創るがん保険 WINGS

1 幅広い保障で 経済的負担をサポート
治療前の検査から治療後の外見ケアまで幅広い保障でしっかり備えることができます。

2 付帯サービス＜アフラックのよりそうがん相談サポート（*1）＞
(2023年1月23日サービス提供開始予定)
アフラックのよりそうがん相談サポーターがさまざまな悩みの解決をサポート
「がんかもしれない」と思ったときから専門知識を持つ相談員が親身にお応えします。

(*1) アフラックのよりそうがん相談サポートはHatch Healthcare株式会社またはHatch Healthcare株式会社の提携先が提供するサービスであり、アフラックの保険契約による保障内容ではありません。サービスの詳細は、アフラックオフィシャルホームページ(https://www.aflac.co.jp/keiyaku/gansoudansupport.html)をご確認ください。

(募集代理店) (アフラックは代理店制度を採用しています) 引受保険会社 AFツール-2022-0277-2210030 7月13日

アベニール株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

「生きる」を創る。 アフラック
東京第二法人営業部
東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービル19階
TEL.03-6385-9829 FAX.03-3218-3885

国土交通省鉄道局長も参加！ 利用者の生活の足、ローカル線廃止反対！ 安全で安心して利用できるように訴える！



**国土交通省へ要請行動！
初めて鉄道局長が参加！**

国労本部6項目要請！



11月14日、参議院議員会館において、国労本部を中心に各工リア本部と全国貨物協議会で要請行動を行いました。

立憲民主党国土交通委員会筆頭理事の森屋 隆参議院議員とともに、10月から施行された改正地域公共交通活性化再生法に基づき設置される「再構築協議会」での地域住民や労働者、自治体との丁寧な合意形成など衆参両院での附帯決議の順守や懸案の諸課題について、鉄道輸送業務に携わる労働組合の立場から、JRを所管する国土交通省へ要請をし、意見交換を行いました。



森屋 隆参議院議員 (紹介議員)

村田鉄道局長から挨拶

国土交通省鉄道局の村田茂樹局長から、鉄道を取り巻く環境はコロナ禍もあり大きく変化している。ローカル線問題について、大きな課題がある。JR職場において安全・安定輸送に尽力していただいている国労の皆様と有意義な意見交換をしたい、と挨拶がありました。



植田委員長が訴え！

西日本本部からは5項目の申し入れを行ない意見交換をしました。要請に対する回答の中には「路線を廃止しようとする時は、国



鉄改革の実施後の輸送需要の動向等を関係自治体等に對して十分に説明すること」「真摯に、丁寧に向き合うこと」「誰もが安全かつ円滑に鉄道サービスを利用できる環境を整備することは大変重要」「窓口の営業時間は、利用実態等を身ながら必要に応じて見直す必要がある」「安全性やサービスの確保は重要であり、利用者の利便性を損なうことが無いように」「運行ダイヤは地元の要望等も十分に踏まえながら設定を行なっていくことが重要」「適時適切に並行在来線の支援のあり方について検討」などの回答がありました。

国労西日本本部の要請項目

1. 地域・住民の足である地方ローカル線の維持・存続について、地方自治体をはじめ地域住民・利用者の方々の声を十分聞き入れ、国民の移動する権利が保障される公共交通としての国の役割・御支援。御援助を。
2. 公共交通における利用者の利便性と安全・サービスの確保。誰もが安全・安心・快適に利用できる鉄道設備、駅・ホームの安全対策の強化、国の恒久的な支援策を。
3. 激甚災害等による被災路線への早期復旧と災害に強い強固な基盤作りに対し、公的助成と財政での積極的な補助を。
4. 新幹線延伸に伴う、並行在来線維持における自治体・鉄道事業者への支援の強化を。
5. 鉄道施設・車内での防犯対策、安全対策の強化と再発防止策への御指導を。